



hida

広報

ひだ

町木



第26号

肥田町
郷づくり委員会
H14.6.25発行

平成13年度

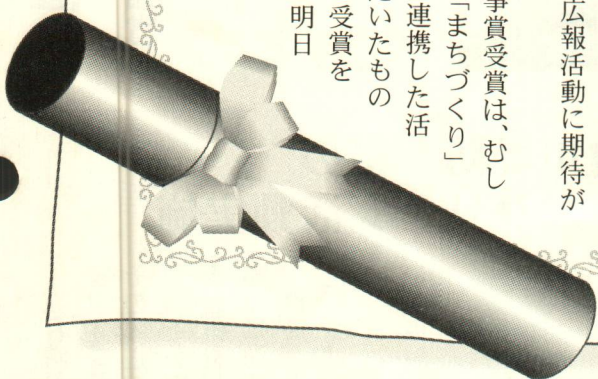
滋賀県広報コンクールで「広報ひだ」及び「ビデオー肥田の歴史」が知事賞を受賞しました。

滋賀県広報協会が主催する滋賀県広報コンクールの表彰式が5月21日に大津市で行われ、私ども肥田町まちづくり委員会が応募しました「広報ひだ」とビデオの「肥田の歴史ー歴史ロマンロードめぐり」が、思いもかけなく栄えある知事賞をいただきました。

県広報協会では、新世紀において生き生きとした地域社会を築くためには、常に地域の住民の行政への理解と協力を得ることと、加えて積極的に、自主的に参加できる土壌を育むことが大切と考え、特に今日の情報化社会では、各自治体における広報活動が重要な役割を求められていると啓蒙運動をすすめています。この度の広報コンクールもその意味において、より分かり易く共感を呼べる広報活動に期待がかけられていると思われました。

今回の肥田町の広報活動への栄えある知事賞受賞は、むしろ私たち肥田町が住み良い町を目指しての「まちづくり」に、日常に自治会はじめ町の各団体が緊密に連携した活動を展開していることへの高い評価をいただいたものと受け止め、大変嬉しく存じますと共に、この受賞を励みに、みんなで一層力を合わせて「より良い明日の肥田」につなげたいと思います。

まちづくり委員会



6月9日 町内防火訓練を実施

自治会では、この度の防災委員会の機能強化とともに町民皆さんの日常での防災知識を高め、初期の迅速で且つ確実な対応の出来るようにと、今回は彦根市消防15分団のご指導を仰ぎ、町民全戸の参加を得て防火訓練が実施されました。この日は特に消火器の取り扱い方と、実際手にとっての訓練を行いました。初期の対応の大切さを改めて実感し、早速に家庭に帰り手持ちの消火器の容量や有効期限の再点検をの声なども出て関心が高められました。

また、消防ポンプ車の取り扱いについての実習では、誰でも出来ることの大切さと、日頃の適切な管理と点検の重要さも改めて学びました。「災害は忘れた頃にやって来る」気持ちは持っていても、知識もしっかり身に付け、いざというときに自らが先ず行動出来ること、そして隣組や委員会との連携も迅速に、みんなの町をみんなで守っていきましょう。

次回の訓練は8月11日です。ご参加をよろしく。



肥田町子供会

田植え体験学習実施

5月5日、公民館前ボールの鯉のぼりが5月の風を受けて気持ちよく泳いでいるこの日、恒例となりました伝承行事が、まちづくり文教伝承部の元持正三さんのご指導のもと子供会と父兄の方等30名が参加して行われた。

まちづくり委員会が、この学習体験を大切に取り上げ続けているところは次の様な気持ちからです。

私たちは、日常、幼稚園や小学校の給食の時も、食事の前に両手を合わせて「いただきます」と言っています。それはご飯をいただけること、作って頂いた方、家庭ではお母さんや家族の皆さんへの「ありがとう」の気持ちを表しています。とりわけ私ども日本人の主食は「お米」です。お米という字を良く見ると八十八と書きますが、食卓に載るまで88人の人々の手がかかっています。一粒のお米づくりに太陽や雨の恵みに、初まきから田植えから収穫まで多くの人の汗が滲んでいます。今はお米づくりも総じて大きな機械でなされることが多くなって、昔のご先祖の人々は、総てが手だけを使って土泥にまみれた家族ぐるみのご苦労が続いたことも遠くならうとしています。今日の田植えの体験学習を通してそんなご苦労を少しでも共に知ってもらい、「おかげさま」「ありがとう」の感謝の気持ちを日常手を合わせる習慣の中でいつまでも忘れないよう続けてほしいと願っているのです。



「肥田町まちづくり」が他町の勉強会に

5月5日 秦荘町 島川を愛する会で開催

島川を愛する会に就いては、既に湖東三町まちづくり交流会でご紹介いたしましたが、五つの部会を設け積極的にボランティア活動も進めておられ、今までも町を挙げてのフラワーアートづくりはテレビでご覧になった方も多いと思います。この度は、島川を愛する会実行委員会の25名で故郷の歴史に光をあてようと考えられ、その研修会に私ども町の「肥田の歴史」のビデオと「肥田町歴史ロマンロードめぐり」の冊子を取り上げた研修会が開かれ、「私たちの集落でも、肥田町の取り組み方を参考にし私どもの歴史的遺産を大切に守り、これからの世代に残していきたいと熱くなりました」とのコメントを頂戴しています。

6月9日 米原町下丹生まちづくり委員会 「ニュードリームチーム」が肥田町を訪問

下丹生の町は、全戸で124世帯で林業に農業とサラリーマンの町、昨年に、「明日にかける夢を創ろう」と米原町まちづくり課の協力を得、25名(内女性8名)でまちづくりチームを結成し、平成15年度までにはその事業計画案を作り上げたいと目下研修に努めておられます。

今回は肥田町の「自然と歴史と人間の共生するまちづくり事業計画」に注目され、皆さんで肥田町公民館を訪ねられての研修会となりました。

当方は、まちづくり委員と自治会長が出席。まちづくり事業の事例報告やビデオ肥田の歴史の紹介、相互の質疑応答で実のある2時間になったと皆さんに喜んでいただきました。

平成14年度の福寿会総会開催

ビデオ「肥田の歴史」を鑑賞

5月18日に福寿会総会が開かれ、高瀬会長より既に高齢化率26%にも達した肥田町の老人会の活動の重点は、みんなの住みよい町、愛されるまちづくりにあるとして、

(1) 会員の意見に充分耳を傾けて、楽しみ7分、活動3分の会運営につとめる。

(2) 80歳90歳代の先輩の方々に敬意を表し、特に良い所は見習い伝えていきたい。

(3) 少子化の進む町の子供たち、中学校までで60人しかない、その子たちを大切に自主性を摘み取らないよう育みたい。

(4) 肥田の持つ固有の歴史、文化のある風土を保ち、常にみんなに安らぎを与える町にしたい。



と述べられた。引き続き、まちづくり委員会の企画制作のビデオ「肥田の歴史」を皆で鑑賞した。改めて見る肥田の歴史口マンめぐりに新鮮な感動と、私の町の誇りをしつかり受けとめる貴重な時間ともなりました。



ご挨拶
街角で花の
顧みますと平成10年春に自治会、まちづくり委員会で花を育てようキャンペーンを行って、どこの家の玄関先でも季節の花のご挨拶が広がり、続けられています。ふれあい、心の安らぎ、やさしい町へのご協力に感謝しています。

この度は、最も人、車の通行の多いところ西町街角にプランター16個を常設して季節の花苗を植えて、通学の子供たちから通勤の方々への花からのご挨拶をと考えました。5月いっぱいまではパンジーでしたが6月からはベコニア、サルビアとなります。現在は近くにお住まいの人々の好意で水遣り、整備と協力をいただいています。花を育てようの気持ちが子供たちまで伝わることを願っています。

宇曾川堤防一帯の クリーン活動実施

6月2日



五月晴れのもと、肥田町の全戸が参加する恒例のクリーン活動は、全長2キロをこえる宇曾川堤防とその周辺の草刈り、不法投棄ゴミの回収の作業、運動場と公園の草刈りと早朝より3時間余りにわたる大作業、無事に滞りなく終えられ、町民皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

自治会としては、目下バイコロジ道路として指定を受けているこの堤防道路を、文字通り皆さんに親しまれる安全な遊歩道として確立すべく市当局に再度強く働きかけています。

自治会 環境部

肥田町 小宮祭

5月19日

当日は、あいにく天候に恵まれず、崇徳寺内に鎮座する「火伏せの神」へのお参りに留まりました。この度の町の祭りに合うように篤志の方のお力添えを得て、火伏せの神「山王権現神社」も新装となり、小雨模様の中、自治会役員、町内各団体の役員をはじめ多くの町民の方々が祭事に参列されました。この神社には「いなりさん」と「あたごさん」が祀られ、五穀をつかさどる守護神と防火の守護神が、町の守護神として崇められ大切な祭事として保存されて来ている。

自治会 文教部



平成14年度 肥田小学生数

学年	男	女	計
1	3	3	6
2	2	3	5
3	2	1	3
4	0	3	3
5	1	1	2
6	2	3	5
計	10	14	24

この本は公募で全国から集まった心のあつたまるエピソードを学年別におさめられた本でした。どこにもある、なんでもないお話ですが、出会ってみると何故か心が温かく感じられ、嬉しくなります。多くの子供たちの綴ったお話を読んでみると、人のことを自分と同じように考える心があるから、人の喜びを自分の喜び

日本児童文学者協会の編集です。

この度、肥田町の公民館の書棚に備えておきましたのでご利用ください。その他に、マラソンの高橋尚子さんの「風になつた日」一強く願えば夢はかなう(中学生向き)もおいにあります。本を通して親子の対話が深まれば幸いです。

ひとくち メモ

BOOK紹介
「心があつたかくなる話」
お薦めします。



子供の日、久方振りに本屋さんの子供のコーナーへ回ってみました。いつもは入ったところの新聞書の売り場を見る位で終わりでしたので、今日は少し新鮮な気持ちで色々本を手にとってみました。「心があつたかくなる話」をパラパラめくり少し立ち読みをしていましたが、心が動かされ買いました。

同じ世代の子供さん、そして是非お母さんにも読んでほしい本だと私は思いました。「心があつたかくなる話」一年生編から四年生まであります。